

# 5 分間ファイヤー・ドリル

## 〔携帯電話による通報訓練〕

< 最低必要訓練人数 = 2人 >



**携帯電話で 119 を送信します。**

事前に、訓練を行うことを消防に連絡しておきましょう。

[消防]:「 消防です。火事ですか、救急ですか」

**「訓練火災、訓練火災、こちらはです。火災が発生しました。」**  
「訓練火災」を2回繰り返します。

[消防]:「場所は、どこですか？」

**「 市 町 の です。」**  
**必ず市町村名を言いましょう。**

(携帯電話の場合は、他の地域の消防に掛かることがあります。)

= 他の地域の消防に繋がった場合 =

[消防]:「わかりました。 消防に転送します。」

= そのまま待ちます。 =

[消防]:「 消防です。火事ですか、救急ですか」

**及び に返ります。**

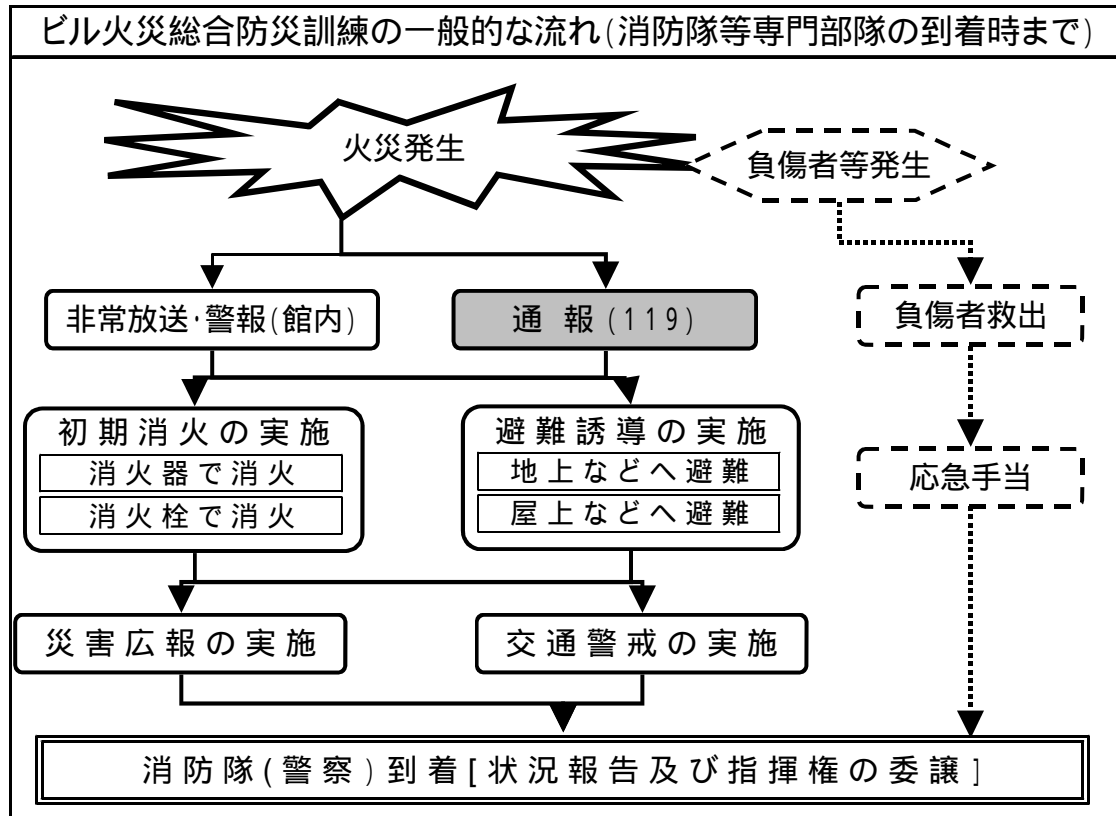
[消防]:「目安となる建物がありますか？」

**「 〇〇の近くです。」**

= 対話方式です。落ち着いて話しましょう。 =

[消防]:「わかりました。すぐに出動します。」

「携帯電話による通報訓練」は、次の図のハッチング部分です！



### 訓練実施上の安全点検チェックリスト

平成 年 月 日実施

	点 検 項 目	確認欄
訓練前	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・消防本部又は消防署との事前協議(転送先を含む)は、済んでいますか？	
	・携帯電話の充電状況や受信状況は、良好ですか？	
	・119への通報要領(マニュアルなど)を持っていますか？	
	・訓練場所は、安全な場所ですか？	
	・訓練監督者は、いますか？	
訓練中	・訓練実施者は、落ち着いて話していますか？	
	・必要な事項(5W1H)を話していますか？	
	・転送される場合の対応は、適当ですか？	
訓練後	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・携帯電話を元の状態に戻しましたか？	
	・反省会を行いましたか？	

： 実際に携帯電話を利用して通報訓練をするとき、特に注意しましょう。

= さあ！ 訓練をやってみよう！ =